

平成27年度 大阪府立芦間高等学校 学校教育自己診断
アンケートの集計結果に対する見解

◎ 調査概要

- (1) 実施日 11月12日(木)～11月27日(金)
- (2) 実施方法 回答方式 マークシート方式
生徒 期間中のLHRの時間に一斉実施
保護者 期間中に生徒に持ち帰らせ、回答後生徒経由で回収
教員 期間中に回答して、教頭に提出
- (3) 有効回答数 生徒 1年240人(242人中)、2年239人(242人中)、3年223人(240人中)、
合計702人(724人中)(回収率97.0%) [共生推進教室生徒を含む]
保護者 1年211人(242人中)、2年170人(242人中)人、3年190人(240人中)、
合計571人(724人中)(回収率78.9%) [共生推進教室生徒を含む]
教員 41人(66人中)(回収率62.1%)

1

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
1	芦間高校での高校生活に満足している。	生徒	1年	27.9%	50.4%	12.1%	6.3%	3.3%	100.0%
			2年	32.2%	44.8%	12.6%	4.2%	6.3%	100.0%
			3年	45.3%	39.9%	10.3%	1.3%	2.7%	100.0%
			全体	35.2%	45.7%	11.0%	4.0%	4.0%	99.9%
1	芦間高校での高校生活に満足しているようである。	保護者	1年	46.0%	43.1%	7.6%	1.4%	1.4%	99.5%
			2年	43.5%	41.2%	5.9%	4.1%	4.1%	98.8%
			3年	50.5%	37.9%	5.3%	3.2%	2.6%	99.5%
			全体	46.8%	40.8%	6.3%	2.8%	2.6%	99.3%
1	生徒は、芦間高校での高校生活に満足しているようである。	教員		43.9%	43.9%	2.4%	0.0%	9.8%	100.0%

「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた評価（以下、「肯定率」という。）が、生徒・保護者ともに80%を超えている。また、例年、3年生を対象に行っている「総合学科アンケート」では、「総合学科で学んで良かった」の肯定率が約95%であった。引き続き、この高い満足度が維持できるように努めたい。

2, 5

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
2	芦間高校の授業は、わかりやすく、内容が充実している。	生徒	1年	6.3%	47.1%	30.8%	9.6%	5.8%	100.0%
			2年	4.2%	51.0%	30.1%	5.9%	8.8%	100.0%
			3年	17.5%	56.1%	19.3%	2.7%	4.0%	100.0%
			全体	9.0%	51.1%	27.2%	6.1%	6.3%	99.7%
2	芦間高校の授業はわかりやすく、かつ内容が充実しているようである。	保護者	1年	10.9%	53.6%	18.0%	3.8%	13.3%	99.5%
			2年	12.9%	35.9%	27.6%	6.5%	15.9%	98.8%
			3年	14.7%	56.8%	12.6%	2.6%	11.1%	97.9%
			全体	10.9%	54.8%	17.3%	3.7%	12.1%	98.8%
2	芦間高校の授業はわかりやすく、かつ内容が充実している。	教員		14.6%	65.9%	4.9%	0.0%	14.6%	100.0%
5	魅力ある授業になるよう、先生は指導方法の工夫・改善を行っている。	生徒	1年	6.3%	40.8%	31.7%	7.1%	13.8%	100.0%
			2年	7.9%	43.1%	28.0%	10.0%	10.9%	100.0%
			3年	13.0%	48.9%	25.1%	4.0%	8.1%	100.0%
			全体	8.7%	43.9%	28.8%	7.1%	11.1%	99.6%
5	魅力ある授業になるよう、指導方法の工夫・改善を行っている。	教員		41.5%	46.3%	2.4%	0.0%	9.8%	100.0%

教員では、肯定率が両方とも80%以上であるのに対して、生徒・保護者では、**2**ではともに肯定率が約60%、**5**では生徒は50%強にとどまっている。昨年度に比べると、**2**では、生徒は、やや下降したものの、60%は堅持している。これは、本校が「授業力向上」に取り組んできた成果の一端ではないかと考えられるが、教員の授業に対する努力や工夫が生徒の実態や気持ちにより一層フィットするにはどうすればよいか、今後も引き続き、様々な視点で検討する必要がある。

3, 4

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
3	習熟度別による少人数展開の授業(1年英語数学等)は、自分の理解度に合っていて、内容がよくわかるようになった。	生徒	1年	15.4%	38.3%	30.0%	10.8%	5.0%	100.0%
			2年	24.7%	46.9%	16.3%	2.9%	8.8%	99.6%
			3年	27.4%	48.9%	14.3%	4.0%	4.0%	100.0%
			全体	22.2%	44.7%	20.5%	6.0%	5.8%	99.3%
3	習熟度別による少人数展開の授業(1年英語数学等)で子どもは、学習内容がよりよく理解できるようになったようである。	保護者	1年	12.8%	46.0%	22.3%	4.3%	14.2%	99.5%
			2年	7.1%	37.6%	30.0%	17.6%	6.5%	98.8%
			3年	20.5%	41.6%	13.2%	3.2%	19.5%	97.9%
			全体	14.9%	44.3%	18.9%	3.9%	16.8%	98.8%
3	習熟度別による少人数展開の授業(1年英語数学等)は、生徒の理解度に合っていて、内容がよく理解できるようになっているようである。	教員		46.3%	36.6%	4.9%	0.0%	12.2%	100.0%
4	習熟度別による少人数展開の授業では、考査後の新しいクラス分けがあるので、自分の学習意欲はより高まった。	生徒	1年	26.3%	35.8%	20.8%	11.7%	5.0%	100.0%
			2年	28.5%	39.3%	19.2%	7.5%	5.4%	100.0%
			3年	31.4%	43.0%	16.6%	5.8%	3.1%	100.0%
			全体	29.2%	39.0%	18.7%	8.4%	4.6%	99.9%
4	習熟度別による少人数展開の授業は、考査後新しいクラス分けがあることなどの効果で、子どもの学習意欲はより高まったようである。	保護者	1年	20.9%	38.9%	21.3%	5.7%	12.3%	99.1%
			2年	4.7%	30.0%	26.5%	8.8%	29.4%	99.4%
			3年	18.9%	41.6%	16.8%	3.7%	17.9%	98.9%
			全体	17.9%	38.9%	21.7%	5.3%	15.2%	98.9%
4	習熟度別による少人数展開の授業は、考査後の新しいクラス分けがあるので、生徒の学習意欲はより高まったようである。	教員		53.7%	26.8%	4.9%	0.0%	14.6%	100.0%

習熟度別少人数展開授業については、生徒の肯定率は、1年生で昨年度より下降したものの、2年生・3年生では70%を超えている。学習意欲の向上につながっているかどうかについては、1年生・2年生で60%を超え、3年生では70%を超えている。

一昨年度から導入した国語総合〔古典分野2単位分〕の少人数展開授業(習熟度ではない)を含め、数学や英語の習熟度別授業についても、意識や取組みの在り方について、これまでの成果と課題をまとめてみる必要があると考えられる。教員は、肯定率が約80%と高く、手間や労力(コスト)に見合った効果(パフォーマンス)があるという認識をもっているため、取組み自体は今後も進めていきたい。

6, 7, 8

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
6	授業の予習復習や宿題など、家庭での学習時間が充実してきている。	生徒	1年	6.3%	30.4%	33.3%	21.7%	8.3%	100.0%
			2年	6.7%	30.5%	33.9%	23.0%	5.9%	100.0%
			3年	12.6%	36.8%	33.6%	9.9%	6.7%	100.0%
			全体	8.0%	32.3%	34.0%	18.2%	7.3%	99.9%
5	授業の予習復習や宿題など、家庭での学習時間が充実してきているようである。	保護者	1年	11.8%	38.4%	29.9%	15.6%	3.8%	99.5%
			2年	11.2%	51.2%	11.2%	2.9%	22.4%	98.8%
			3年	14.7%	26.8%	31.6%	20.5%	5.8%	99.5%
			全体	11.4%	34.3%	30.5%	17.9%	5.3%	99.3%
6	授業の予習復習や宿題など、家庭での学習時間が充実してきているようである。	教員		14.6%	26.8%	34.1%	7.3%	17.1%	100.0%
7	自学自習ができるように、授業などで適切な指示が出ている。	生徒	1年	12.9%	50.0%	22.1%	5.8%	8.8%	100.0%
			2年	7.9%	43.9%	32.2%	5.4%	10.5%	100.0%
			3年	13.5%	42.6%	30.9%	5.4%	7.2%	100.0%
			全体	11.5%	45.7%	28.1%	5.7%	8.7%	99.7%
6	自学自習ができるように、授業などで適切な指示が出ているようである。	保護者	1年	10.0%	35.1%	23.7%	5.2%	24.6%	98.6%
			2年	10.0%	32.9%	27.1%	7.1%	21.2%	98.2%
			3年	9.5%	38.4%	17.4%	5.3%	28.9%	99.5%
			全体	8.2%	34.7%	22.4%	6.3%	27.5%	99.1%
7	自学自習ができるように、授業などで適切な指示を出している。	教員		22.0%	51.2%	17.1%	0.0%	9.8%	100.0%
8	芦間高校の「生徒に学習習慣を身に付けさせるための取組み」には、満足している。	生徒	1年	11.7%	29.2%	31.3%	11.7%	16.3%	100.0%
			2年	7.5%	29.7%	41.0%	7.1%	14.6%	100.0%
			3年	11.7%	38.1%	29.1%	8.5%	12.1%	100.0%
			全体	10.0%	32.6%	33.6%	9.3%	14.4%	99.9%
8	芦間高校の「生徒に学習習慣を身に付けさせるための取組み」には、満足している。	保護者	1年	13.3%	39.8%	21.3%	5.7%	19.0%	99.1%
			2年	14.1%	41.2%	21.8%	8.2%	14.1%	99.4%
			3年	14.7%	37.9%	17.9%	6.8%	22.1%	99.5%
			全体	12.8%	37.1%	21.9%	6.5%	20.7%	98.9%
8	「生徒に学習習慣を身に付けさせるための取組み」については、生徒や保護者を満足させることができている。	教員		14.6%	31.7%	22.0%	0.0%	31.7%	100.0%

「家庭学習の充実」については、生徒の肯定率は、昨年度に比べてやや上昇したが、約40%であり、50%を切ったままである。3年生で肯定率が他に比べてやや高い数字を示しているのは、時期的にも、受験勉強の影響が少なからずあると考えられる。「自学自習の適切な指示」については、生徒の肯定率は、昨年度より上昇し、教員の努力が反映しつつあると考えられる。

「学習習慣を身に付けさせるための取組み」についても、生徒の肯定率は、昨年度よりやや上昇した。家庭学習を含めた学習習慣の定着は、本校の重要な課題として認識し、昨年度当初より「家庭学習充実プロジェクト」を立ち上げ、他校の実践に学びながら対策について検討を続けている。

今後も、生徒が自学自習を行うことができるよう、生徒には日々の学習時間を記録する「学習カレンダー」等の活用を勧めるなど、学習習慣の定着のための取組みについて議論し、さらなる改善に尽力したい。



9

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
9	成績については、テストの得点だけでなく、様々な面からの評価を受けている。	生徒	1年	12.9%	34.2%	28.3%	6.3%	17.5%	100.0%
			2年	18.4%	39.3%	22.6%	5.9%	13.8%	100.0%
			3年	24.2%	46.2%	17.5%	4.0%	8.1%	100.0%
			全体	18.7%	39.5%	22.8%	5.6%	13.2%	99.7%
7	成績については、テストの得点だけでなく様々な面から評価されているようである。	保護者	1年	11.4%	44.5%	11.8%	3.8%	27.5%	99.1%
			2年	18.2%	49.4%	13.5%	6.5%	11.8%	99.4%
			3年	18.9%	51.6%	10.0%	2.6%	16.3%	99.5%
			全体	13.8%	48.9%	11.0%	3.2%	22.2%	99.1%
9	成績については、テストの得点だけでなく、様々な面からの評価をしている。	教員		68.3%	26.8%	0.0%	0.0%	4.9%	100.0%

教員の肯定率が、昨年度より上昇し95%を超えている。一方、生徒・保護者の肯定率は、60%前後にとどまっている。

昨年度より、生徒に配付する『開講科目』のシラバスには、「評価」の欄を新たに設け、評価内容や評価方法を記載した。各科目の達成目標、授業内容、評価という流れを生徒・保護者の皆さんにご理解いただき、評価というものについての意識を少しでも高めていただくことができれば幸いである。

また、観点別評価についても、授業力向上の取組みと連動させて取り組むなどして、引き続き充実を図っていききたい。

10, 12

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
10	将来の進路や生き方について考える機会がある。	生徒	1年	51.3%	37.5%	6.7%	2.9%	1.3%	100.0%
			2年	39.3%	40.2%	13.0%	2.9%	4.6%	100.0%
			3年	47.5%	38.6%	9.9%	1.8%	2.2%	100.0%
			全体	47.2%	38.5%	9.4%	2.4%	2.4%	99.9%
9	芦間高校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っているようである。	保護者	1年	22.7%	51.7%	10.4%	5.7%	9.0%	99.5%
			2年	10.6%	48.2%	14.1%	5.3%	21.2%	99.4%
			3年	29.5%	42.1%	16.8%	4.7%	6.3%	99.5%
			全体	23.6%	47.8%	13.5%	5.6%	8.9%	99.5%
10	将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている。	教員		61.0%	29.3%	7.3%	0.0%	2.4%	100.0%
12	「産業社会と人間」や「総合学習」の授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになった。	生徒	1年	37.9%	35.0%	14.6%	8.3%	4.2%	100.0%
			2年	32.2%	36.0%	20.1%	4.2%	7.5%	100.0%
			3年	37.2%	38.1%	16.1%	4.0%	4.0%	100.0%
			全体	35.6%	36.3%	17.1%	5.6%	5.3%	99.9%
11	「産業社会と人間」の授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになったようである。	保護者	1年	22.5%	37.5%	21.3%	7.1%	11.7%	100.0%
			2年	18.4%	39.3%	25.1%	5.9%	11.3%	100.0%
			3年	25.6%	45.7%	19.3%	6.3%	3.1%	100.0%
			全体	21.9%	41.0%	22.1%	6.1%	8.8%	100.0%
12	生徒は、「産業社会と人間」などの授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになっている。	教員		48.8%	43.9%	0.0%	0.0%	7.3%	100.0%

本校は、総合学科であることから、必履修科目「産業社会と人間」を核として、キャリア教育の推進に力を注いでいる。ここ数年、生徒の肯定率は $\boxed{10}$ で80%を超え、 $\boxed{12}$ でも70%を超えている。これらは、本校のキャリア教育の成果の表れと言える。

今年度、役職「産社総学コーディネータ」を新設し、そのリーダーシップのもと、「産社総学調整委員会」を立ち上げ、本校の「キャリア教育」のこれまでの成果と課題を整理し、さらなる充実をめざして取組みを進めてきた。来年度もこの取組みを進めていきたい。

$\boxed{11}$

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
11	芦間高校の進路指導には満足している。	生徒	1年	22.5%	37.5%	21.3%	7.1%	11.7%	100.0%
			2年	18.4%	39.3%	25.1%	5.9%	11.3%	100.0%
			3年	25.6%	45.7%	19.3%	6.3%	3.1%	100.0%
			全体	21.9%	41.0%	22.1%	6.1%	8.8%	100.0%
10	芦間高校の進路指導には満足している。	保護者	1年	14.7%	39.3%	18.5%	3.8%	23.2%	99.5%
			2年	14.7%	40.0%	27.1%	7.1%	10.0%	98.8%
			3年	28.4%	38.4%	18.9%	6.3%	7.4%	99.5%
			全体	19.1%	39.6%	19.6%	6.0%	15.2%	99.5%
11	進路指導面については、生徒や保護者を満足させることができている。	教員		17.1%	51.2%	12.2%	0.0%	19.5%	100.0%

保護者の肯定率は60%弱である。1年生の保護者で「よくわからない」が多いのは、1年生では進路指導について実感する機会が少ないからではないかと考えられる。

進路指導の充実に関する生徒・保護者の満足度の向上、そして、生徒の進路先の確実な保障については、すべての府立学校に共通する重要な課題である。本校としては、課題を真摯に受け止めて、満足度の向上に努め、次年度、生徒・保護者ともに肯定率がさらに上がるよう、尽力していきたい。

$\boxed{13}$

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
13	芦間高校での進路に関する取組みを経て、クラスの学習する雰囲気や自分の学習意欲が高まっている。	生徒	1年	10.4%	31.3%	32.5%	13.8%	12.1%	100.0%
			2年	7.5%	32.2%	34.7%	15.9%	9.6%	100.0%
			3年	13.9%	40.8%	27.8%	11.7%	5.8%	100.0%
			全体	10.4%	34.5%	31.9%	14.0%	9.3%	100.0%
12	芦間高校での進路に関する取組みを経て、自分の将来についてよく考え、学習意欲の向上にも繋がっているようである。	保護者	1年	13.3%	42.7%	26.5%	3.8%	12.8%	99.1%
			2年	18.2%	53.5%	17.6%	3.5%	6.5%	99.4%
			3年	21.6%	46.3%	18.4%	4.7%	8.4%	99.5%
			全体	16.5%	43.1%	24.0%	5.1%	10.5%	99.1%
13	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	教員		51.2%	31.7%	7.3%	0.0%	9.8%	100.0%

教員の肯定率は80%を超えているのに対し、生徒・保護者の肯定率はともに約45~60%程度にとどまっている。1年の「産業社会と人間」、2年の「総合的な学習の時間」（「総学論文」等の取組み）、3年の「総合的な学習の時間」（進路達成講座）等での取組みと、進路を実現するための指導（いわゆる、進路指導）との関連を十分に生徒に意識させることができるよう、進路指導部を中心に、進路意識の高揚、そして、日々の学習意欲の向上につながるよう取組みを充実させていきたい。



14, 15, 16

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
14	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行われている。	生徒	1年	24.2%	42.1%	19.6%	6.7%	7.1%	100.0%
			2年	20.9%	38.9%	26.4%	6.7%	7.1%	100.0%
			3年	23.3%	41.7%	21.5%	6.3%	6.7%	100.0%
			全体	22.6%	40.7%	22.5%	6.8%	7.0%	99.7%
13	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行われているようである。	保護者	1年	17.1%	45.5%	13.3%	3.3%	19.4%	98.6%
			2年	38.8%	45.3%	10.6%	1.2%	2.9%	98.8%
			3年	18.4%	50.5%	13.2%	4.2%	13.2%	99.5%
			全体	17.7%	47.5%	14.7%	4.0%	15.2%	99.1%
14	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行っている。	教員		56.1%	39.0%	2.4%	0.0%	2.4%	100.0%
15	科目選択については、自分の進路希望に合った選び方ができた。	生徒	1年	35.8%	36.7%	15.8%	5.4%	5.8%	100.0%
			2年	18.8%	43.9%	23.4%	5.9%	7.9%	100.0%
			3年	25.6%	39.5%	22.9%	7.6%	4.0%	100.0%
			全体	27.1%	39.9%	20.4%	6.4%	6.0%	99.7%
14	科目選択については、生徒の進路希望に合った選び方ができたようである。	保護者	1年	19.0%	40.3%	16.6%	6.2%	17.5%	99.5%
			2年	7.6%	35.9%	30.0%	8.2%	17.6%	99.4%
			3年	30.5%	45.8%	8.9%	4.7%	8.9%	98.9%
			全体	22.6%	46.1%	14.4%	4.9%	11.4%	99.3%
16	科目選択については、生徒の進路希望に合った選び方ができるよう指導できている。	教員		56.1%	31.7%	4.9%	2.4%	4.9%	100.0%
16	芦間高校は選択科目が多く、それらを自分で選べるところが魅力である。	生徒	1年	46.3%	29.6%	12.5%	7.5%	4.2%	100.0%
			2年	41.0%	37.2%	11.3%	5.4%	5.0%	100.0%
			3年	61.0%	26.5%	7.6%	2.2%	2.2%	100.0%
			全体	49.4%	31.2%	10.3%	5.1%	3.8%	99.9%
15	芦間高校は、選択科目が多く、それらを自分で選べるところが魅力のようである。	保護者	1年	37.9%	41.2%	8.5%	3.8%	7.1%	98.6%
			2年	12.9%	40.6%	12.9%	1.8%	31.2%	99.4%
			3年	52.6%	35.8%	5.8%	1.1%	4.7%	100.0%
			全体	43.1%	40.6%	8.2%	2.1%	5.1%	99.1%
15	芦間高校は、選択科目が多くそれらを自分で選べるところが、生徒にとって魅力のようである。	教員		51.2%	34.1%	7.3%	0.0%	7.3%	100.0%

総合学科は、選択科目が多いことが特徴の一つである。そのため、それを「魅力」と感じている生徒・保護者はともに80%を超えている。一方、「科目選択の進路希望との適合状況」の肯定率は、生徒・保護者ともに、70%弱にとどまっている。より進路希望に即した科目選択群の構築等、さらなる工夫を加えていきたい。

また、「科目選択の指導の適切さ」の肯定率は、生徒・保護者ともに60～65%程度にとどまっている。指導する教員は、生徒の将来を見通して、教科・科目の必要性をより一層丁寧に説明するとともに、全体指導に加えて、個別のガイダンスを充実させることが必要であろう。

17

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
17	進路についての情報は、十分に知らされている。	生徒	1年	21.3%	42.9%	17.5%	7.1%	10.4%	100.0%
			2年	15.9%	42.3%	23.4%	6.7%	11.3%	99.6%
			3年	23.3%	47.1%	20.6%	3.6%	4.5%	100.0%
			全体	19.8%	44.6%	20.2%	5.8%	8.8%	99.3%
16	進路指導面で、家庭への連絡や意思疎通は、きめ細かく行われている。	保護者	1年	8.1%	31.8%	26.5%	8.1%	24.6%	99.1%
			2年	18.8%	40.6%	17.6%	4.1%	18.2%	99.4%
			3年	12.6%	38.4%	24.7%	12.1%	11.6%	99.5%
			全体	9.5%	35.2%	27.0%	9.5%	18.2%	99.3%
17	進路指導面で、家庭への連絡や意思疎通を、きめ細かく行っている。	教員		31.7%	34.1%	7.3%	2.4%	24.4%	100.0%

保護者の肯定率が依然として50%を切っている。次年度は、保護者集会への参加をより一層促すなどして、生徒の肯定率を70%以上、保護者の肯定率を50%以上にすることをめざしたい。

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
17	芦間高校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。	保護者	1年	12.3%	34.6%	10.4%	2.8%	38.4%	98.6%
			2年	15.3%	52.4%	9.4%	3.5%	18.8%	99.4%
			3年	23.2%	39.5%	12.1%	2.6%	22.1%	99.5%
			全体	16.1%	38.0%	11.7%	2.5%	30.8%	99.1%

肯定率が50%を超えているが、一方で、「よくわからない」が約30%を示している。これは「相談をする場面がなかった」ということかもしれないが、その原因を分析しつつ、全体の肯定率が60%以上になることをめざしたい。

18

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
18	奨学金制度についての情報は、十分に知らされている。	生徒	1年	10.0%	27.9%	23.8%	15.8%	22.5%	100.0%
			2年	9.6%	27.6%	31.0%	12.6%	18.8%	99.6%
			3年	19.7%	44.8%	17.0%	8.5%	9.9%	100.0%
			全体	12.0%	33.2%	24.6%	12.7%	17.4%	99.9%
18	進路に関しての情報提供(奨学金等も含む)や家庭への連絡は、適切に行われている。	保護者	1年	16.1%	44.5%	13.3%	3.3%	21.8%	99.1%
			2年	16.5%	52.4%	13.5%	2.9%	14.1%	99.4%
			3年	26.3%	43.7%	13.7%	7.9%	7.4%	98.9%
			全体	20.3%	43.1%	14.7%	5.1%	15.9%	99.1%
18	進路に関して、情報提供や家庭への連絡は、適切に行っている。	教員		29.3%	41.5%	2.4%	2.4%	24.4%	100.0%

生徒・保護者ともに肯定率は昨年度並みであり、生徒では3年生の肯定率が高い。これは、大学等への進学に向けての奨学金に関心が高く、情報の多くが3年生で提供されるということが理由であろう。現在、奨学金に関する情報提供は、教室掲示と担任からの連絡とで行っている。また、1・2年生の保護者集会において、外部講師を招聘して、進学に向けてのマネープランについての講演会を実施しているが、まだまだ保護者の参加率が低いように思う。次年度は、このような取組みをより一層周知して、保護者に積極的に参加していただき、早い段階から進路や奨学金について関心をもっていただけるよう取り組みたい。ただ、奨学金の多くは貸与であり、将来の返還の負担を考慮し、情報の全員配付については慎重に考えたい。

19

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
19	芦間高校の生徒指導の方針は、理解できる。	生徒	1年	18.3%	34.6%	20.4%	10.0%	16.7%	100.0%
			2年	11.7%	39.7%	26.4%	8.8%	13.0%	99.6%
			3年	19.3%	38.1%	22.4%	8.5%	11.7%	100.0%
			全体	16.5%	36.5%	24.1%	9.0%	13.8%	99.9%
19	芦間高校の生徒指導の方針は理解できる。	保護者	1年	22.3%	46.0%	7.6%	3.3%	19.9%	99.1%
			2年	18.2%	50.0%	7.6%	2.9%	20.6%	99.4%
			3年	24.7%	42.1%	13.2%	2.6%	16.3%	98.9%
			全体	21.0%	46.6%	10.0%	3.2%	18.4%	99.1%
19	芦間高校の生徒指導の方針は、生徒や保護者に理解されている。	教員		26.8%	41.5%	7.3%	4.9%	19.5%	100.0%

保護者の肯定率は70%弱と昨年度とほぼ同じ値であったが、生徒の肯定率がやや下降した。一方、「よくわからない」が、生徒で10%を超え、保護者に至っては20%近くあり、生徒指導部や学年からの配付文書等に生徒指導の内容を随時入れていくなどの対策を講じて、「よくわからない」と答える生徒・保護者の割合を10%未満になることをめざしたい。

20

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
20	生活指導面で、生徒に適切な指導や注意がされている。	生徒	1年	25.8%	41.7%	16.7%	6.3%	9.6%	100.0%
			2年	16.7%	42.3%	21.3%	9.6%	9.6%	99.6%
			3年	22.9%	41.7%	19.3%	7.2%	9.0%	100.0%
			全体	22.2%	42.0%	19.2%	7.1%	9.3%	99.9%
20	芦間高校は、生活指導面で適切な指導や注意をしているようである。	保護者	1年	26.5%	43.6%	8.1%	3.8%	16.6%	98.6%
			2年	15.9%	49.4%	9.4%	1.2%	23.5%	99.4%
			3年	23.7%	47.4%	8.9%	6.3%	12.1%	98.4%
			全体	22.6%	47.5%	10.0%	4.4%	14.4%	98.8%
20	生活指導面で、生徒に対して、適切に注意や指導をしている。	教員		56.1%	31.7%	9.8%	2.4%	0.0%	100.0%

肯定率は、生徒で60%強、保護者で70%強であり、保護者には一定程度受け入れられていると考えられる。否定的な回答をした生徒が25%以上いるが、現状では、教員による指導や注意はある程度行われていると考えられる。教員による生徒への適切な声かけを継続するとともに、診断結果と実態とのギャップについて考察していきたい。ただ、設問中の「適切な指導や注意」という表現では、指導が厳しいのか厳しくないのかが不明確なため、結果の分析が難しいという面がある。来年度からは「芦間高校の先生は、遅刻・服装・頭髪等、学校生活全般について、しっかりと指導や注意をしている。」という設問に変更すること等を検討し、学校全体としての生活指導面での取組みを確実に分析できるように改善していきたい。

21

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
21	自分の持ち物は、個人ロッカーに整理したり、貴重品は身につけたりするなど、しっかり自己管理をするように心がけている。	生徒	1年	25.4%	41.3%	12.5%	5.8%	15.0%	100.0%
			2年	12.6%	40.2%	24.3%	7.5%	15.5%	100.0%
			3年	24.2%	43.9%	13.0%	4.5%	12.6%	100.0%
			全体	20.7%	42.3%	16.5%	6.0%	14.0%	99.4%
21	芦間高校では、持ち物の管理について、生徒自身がしっかりとできるように、指導がなされている。	保護者	1年	29.9%	46.0%	5.2%	0.9%	17.1%	99.1%
			2年	19.4%	41.8%	12.4%	4.1%	21.8%	99.4%
			3年	17.4%	41.1%	16.3%	4.2%	20.5%	99.5%
			全体	22.2%	45.5%	9.6%	2.6%	19.3%	99.3%
21	生徒自身が、自分の持ち物をしっかりと管理するように、日頃から注意喚起や指導を行っている。	教員		48.8%	51.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

教員の肯定率が100%であるのに対し、生徒の肯定率は60%強にとどまっている。教員の指導は徹底しているが、生徒の自己管理意識が醸成できていない。居心地のよい学校ということとは切り離して、生徒の自己管理意識を高める工夫をしていきたい。

22

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
22	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	生徒	1年	45.4%	32.1%	12.9%	7.5%	2.1%	100.0%
			2年	40.6%	28.5%	19.7%	6.7%	4.6%	100.0%
			3年	42.6%	34.1%	13.5%	5.4%	4.0%	100.0%
			全体	43.7%	31.6%	14.5%	6.4%	3.6%	99.9%
22	芦間高校は、子どもに生命を大切にすることや社会ルールを守る態度を育てようとしている。	保護者	1年	21.3%	46.9%	5.7%	2.8%	22.3%	99.1%
			2年	14.1%	45.9%	15.3%	1.2%	22.9%	99.4%
			3年	21.1%	40.0%	8.9%	4.2%	24.7%	98.9%
			全体	19.6%	45.4%	7.9%	2.8%	23.5%	99.1%
22	芦間高校は、生命を大切にすることや社会ルールを守る態度を育てようとしている。	教員		46.3%	36.6%	7.3%	0.0%	9.8%	100.0%

生徒の肯定率が年々増加しており、今年度は昨年度より約15%上昇した。自転車通学における交通ルールの遵守に関する指導や、薬物乱用防止に関する指導、人権講演や人権LHRの回数の増加等によって、これらのことを生徒が学ぶ機会を充実させてきている成果が出ていると考えられる。引き続き、学年集会や人権HR等を通して、繰り返し指導を続けることが大切であると考えている。保護者では、「よくわからない」が20%以上存在している。今まで以上に、ホームページや学年通信等を活用して、学校の取組みに対する理解を求めていきたい。

23

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
23	担任の先生以外にも、保健室や相談室等で、気軽に相談することができることを知っている。	生徒	1年	18.8%	44.2%	19.2%	8.3%	8.8%	100.0%
			2年	18.4%	40.6%	26.8%	5.0%	9.2%	100.0%
			3年	29.1%	42.2%	17.5%	5.8%	4.5%	100.0%
			全体	21.7%	42.6%	20.9%	6.6%	7.7%	99.4%
23	担任の先生以外にも、保健室や相談室等で、気軽に相談できることを知っている。	保護者	1年	16.1%	28.9%	14.7%	6.2%	33.2%	99.1%
			2年	15.3%	47.6%	12.9%	4.1%	19.4%	99.4%
			3年	29.5%	34.2%	11.6%	3.7%	20.0%	98.9%
			全体	21.5%	34.5%	13.0%	4.7%	25.4%	99.1%
23	芦間高校は教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員にも相談することができる。	教員		68.3%	24.4%	2.4%	0.0%	4.9%	100.0%

生徒の肯定率がさらに上昇した。本校では、教育相談機能の充実に尽力しており、今年度は、スクールカウンセラーに加えて、心療内科医師との連携も図った。教員研修も、毎年、充実した内容で実施することができている。このような地道な取り組みが功を奏し、生徒にも好影響を与えることができていると考えられる。今後も、外部人材の活用を推進し、「チーム学校」を意識した組織体制の構築をめざしていきたい。



番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
24	芦間高校は、教育情報について、積極的に提供する努力をしている。	保護者	1年	15.2%	35.5%	12.3%	5.7%	30.3%	99.1%
			2年	17.1%	41.8%	11.2%	1.8%	27.6%	99.4%
			3年	17.4%	41.1%	12.1%	4.2%	23.7%	98.4%
			全体	15.6%	40.5%	13.1%	3.9%	25.9%	98.9%

25%以上が「よくわからない」と答えている。今後、紙媒体での情報提供とともに、ホームページやメールマガジン等を積極的に活用し、「よくわからない」が15%以下になることをめざしたい。

24

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
24	先生は、生徒の意見をよく聞いてくれる。	生徒	1年	23.3%	30.8%	20.8%	15.4%	9.6%	100.0%
			2年	27.6%	32.2%	20.1%	10.0%	10.0%	100.0%
			3年	34.5%	30.0%	19.3%	8.1%	7.2%	100.0%
			全体	27.5%	32.1%	19.9%	11.3%	9.0%	99.7%
25	先生は、生徒の意見をよく聞いてくれているようである。	保護者	1年	21.8%	35.1%	10.9%	7.1%	24.6%	99.5%
			2年	19.4%	50.6%	8.8%	1.2%	19.4%	99.4%
			3年	23.2%	45.3%	8.9%	5.3%	16.8%	99.5%
			全体	20.3%	42.2%	10.9%	5.6%	20.5%	99.5%
24	教職員は、生徒の意見をよく聞いている。	教員		36.6%	56.1%	0.0%	0.0%	7.3%	100.0%

肯定率が、教員では90%以上であるのに対し、生徒・保護者では約60～65%程度にとどまっている。また、生徒では「あまりあてはまらない」が約20%となっている。「よく聞いてくれる」の意味するところが「よく傾聴してくれる」であるならば、課題として真摯に受け止めなければならない。改めて、生徒の心や気持ちに寄り添った「カウンセリングマインドを伴った指導」を徹底するべく、教育相談機能の充実に資する校内教職員研修の実施など、研鑽に努め、精進していきたい。

25

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
25	環境、国際理解、福祉ボランティア等について学習する機会がある。	生徒	1年	15.8%	38.8%	21.3%	10.8%	12.9%	100.0%
			2年	11.7%	42.7%	22.2%	10.5%	12.1%	99.2%
			3年	19.3%	42.6%	22.9%	6.7%	7.6%	100.0%
			全体	15.7%	40.9%	22.6%	9.3%	10.8%	99.3%
26	芦間高校は、環境、国際理解・福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせようとしている。	保護者	1年	13.7%	42.2%	9.0%	2.8%	31.3%	99.1%
			2年	15.9%	49.4%	8.2%	3.5%	22.4%	99.4%
			3年	12.1%	39.5%	11.1%	2.6%	33.7%	98.9%
			全体	14.2%	41.2%	10.3%	2.5%	31.0%	99.1%
25	芦間高校は、環境、国際理解、福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせている。	教員		29.3%	46.3%	12.2%	2.4%	9.8%	100.0%

肯定率が、生徒・保護者・教員ともに昨年度よりやや増加している。これは、「海外語学研修」の取組みに加え、「海外修学旅行」の推進等、「国際理解教育」に力を入れた成果の表れであると考えられる。また、「福祉ボランティア」については、これまでも本校の生徒の意識が高く、定期的実施している、御幸（みゆき）幼稚園・外島（そとじま）保育所との連携・協力による合同防災避難訓練においても、ボランティアとして、100名の生徒が協力してくれているという現状がある。

26

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
26	授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある。	生徒	1年	8.8%	26.7%	33.3%	13.8%	17.1%	100.0%
			2年	10.5%	40.6%	25.5%	8.8%	14.6%	100.0%
			3年	11.7%	33.2%	30.9%	11.7%	11.7%	100.0%
			全体	10.4%	32.6%	30.5%	11.5%	14.5%	99.6%
27	芦間高校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	保護者	1年	20.9%	44.1%	8.1%	2.4%	23.7%	99.1%
			2年	72.4%	15.9%	4.1%	4.1%	2.4%	98.8%
			3年	21.6%	44.2%	7.4%	3.2%	22.1%	98.4%
			全体	20.7%	46.1%	8.1%	2.3%	21.9%	98.9%
26	芦間高校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	教員		46.3%	41.5%	7.3%	2.4%	2.4%	100.0%

本校では、次の設問にある人権教育に加え、「薬物乱用防止教室」や「交通安全教室」等を実施し、「豊かな心や人の生き方について考える機会」があり、その成果は、生徒たちの行動や考え方に表れていると考えている。これからも、すべての教育活動を通じて、「豊かな心や人の生き方について考える機会」となる取組みをさらに充実させていきたい。

27

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
27	人権について学ぶ機会がある。	生徒	1年	12.9%	35.0%	26.3%	12.5%	13.3%	100.0%
			2年	13.4%	34.3%	31.8%	7.9%	12.6%	100.0%
			3年	15.2%	39.5%	26.5%	9.4%	8.1%	100.0%
			全体	13.7%	36.5%	27.6%	10.3%	11.5%	99.6%
28	芦間高校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	保護者	1年	17.1%	39.8%	6.2%	2.8%	33.6%	99.5%
			2年	48.2%	26.5%	7.1%	14.1%	3.5%	99.4%
			3年	20.0%	43.2%	7.4%	2.1%	25.8%	98.4%
			全体	17.7%	43.8%	7.2%	2.8%	27.7%	99.1%
27	芦間高校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	教員		46.3%	43.9%	7.3%	0.0%	2.4%	100.0%

生徒の肯定率が昨年度より下降している。人権講演会をはじめ、本校では、人権について学ぶ機会は決して少なくないが、人権学習としてのとらえができていないのかもしれない。引き続き、生徒の興味・関心のある内容を通して、人権教育を身近なものとして推進していくことが大切であると考え、人権講演会や人権LHR等のさらなる充実をめざしたい。

保護者では、「よくわからない」が30%近くある。家庭内で、保護者と生徒との間に、学校のできごとや人権に関する話題がのぼるということがあまりないのかもしれない。学校として、今まで以上に、ホームページや学年通信等を通して、学校の取組み、特に、人権尊重に関する取組みに対する理解を求めていきたい。

28

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
28	芦間高校では、男女は平等に扱われている。	生徒	1年	16.3%	32.5%	25.8%	11.7%	13.8%	100.0%
			2年	20.1%	36.4%	25.5%	6.7%	11.3%	100.0%
			3年	39.5%	37.2%	10.3%	4.5%	7.2%	100.0%
			全体	24.6%	35.9%	20.5%	7.7%	10.8%	99.6%

本校では、男女比がおおよそ1対3である。クラス等での役割分担において、人数の少ない男子に比較的多くの「仕事」が課せられる場合がある。そのことを心情的に「不平等」と感じてしまう男子が多いのではないかと考えられる。人権HR等を通して、生徒の興味・関心のある題材を用いて、より一層、男女平等教育を推進していく必要があると考えられる。

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
29	子どもは、学校に友達がいると言っている。	保護者	1年	78.2%	17.1%	2.8%	0.9%	0.5%	99.5%
			2年	61.8%	27.1%	4.1%	2.4%	4.1%	99.4%
			3年	79.5%	11.6%	5.3%	1.6%	1.6%	99.5%
			全体	76.9%	14.9%	4.0%	2.1%	1.4%	99.3%
40	生徒は、学校に友達がいると言っている。	教員		43.9%	43.9%	0.0%	0.0%	12.2%	100.0%

保護者の肯定率が90%を超えているので、概ね安心していただけていると考えられる。一方、数%ではあるが、否定的な回答があるので、その部分の分析を丁寧に行い、100%の肯定率に近づけられるよう努めていきたい。

29

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
29	文化祭等の学校行事は、楽しく行えるよう工夫されている。	生徒	1年	27.9%	33.3%	16.3%	12.5%	10.0%	100.0%
			2年	20.5%	38.5%	19.7%	10.9%	10.5%	100.0%
			3年	23.3%	41.7%	14.8%	10.3%	9.0%	100.0%
			全体	23.9%	37.6%	17.0%	11.4%	9.8%	99.7%
29	芦間高校は、学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	教員		61.0%	36.6%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%

生徒の肯定率が約10%下降した。理由としては、体育祭でのプログラムの制限、文化祭でのクラス企画の制限などが考えられるが、次年度以降につなげる意味で、生徒の受け止めの実態を探る必要がある。



番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
30	芦間高校の学校行事や公開授業に参加したことがある。	保護者	1年	49.3%	18.5%	6.6%	20.4%	3.8%	98.6%
			2年	48.2%	21.3%	5.7%	11.4%	2.8%	89.5%
			3年	58.4%	19.5%	7.4%	12.1%	1.6%	98.9%
			全体	52.0%	21.2%	7.0%	15.8%	3.0%	98.9%

保護者を対象とした土曜参観を一昨年度から実施しているが、まだまだ周知が足りなかったようである。来年度は、より一層、事前の周知に努め、多くの保護者に来ていただけることをめざしたい。

30

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
30	芦間高校生は、文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加している。	生徒	1年	41.7%	35.0%	10.8%	7.5%	4.6%	100.0%
			2年	31.0%	43.1%	15.1%	4.2%	6.3%	99.6%
			3年	38.6%	40.4%	10.8%	4.5%	4.9%	100.0%
			全体	37.6%	39.2%	12.0%	5.4%	5.3%	99.4%
31	芦間高校生は文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加しているようである。	保護者	1年	70.6%	20.4%	2.4%	1.4%	4.7%	99.5%
			2年	67.1%	22.9%	3.6%	2.0%	3.6%	99.2%
			3年	70.5%	21.6%	4.2%	1.6%	1.6%	99.5%
			全体	68.0%	22.8%	3.5%	1.8%	3.5%	99.5%
30	芦間高校生は、文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加している。	教員		75.6%	22.0%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%

肯定率は、生徒で80%弱であり、保護者に至っては90%を超えている。ただ、例年に比べ、1年生の肯定率が下降した。実行担当者会議や学年担任団を中心とした丁寧な指導が必要であると考えられる。

31

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
31	芦間高校生は、生徒会活動に関心を持って積極的に参加している。	生徒	1年	14.2%	29.6%	23.8%	13.3%	19.2%	100.0%
			2年	15.9%	33.9%	25.5%	13.4%	11.3%	100.0%
			3年	13.5%	32.3%	30.9%	12.1%	9.9%	100.0%
			全体	14.1%	31.3%	27.2%	13.2%	13.7%	99.6%
32	芦間高校生は生徒会活動に関心を持って積極的に参加しているようである。	保護者	1年	20.4%	34.6%	11.4%	5.7%	27.5%	99.5%
			2年	19.4%	34.7%	16.5%	7.6%	21.2%	99.4%
			3年	24.2%	34.7%	16.3%	6.3%	18.4%	100.0%
			全体	21.4%	34.7%	14.5%	6.5%	22.6%	99.6%
31	芦間高校生は、生徒会活動に関心を持って積極的に参加している。	教員		31.7%	46.3%	14.6%	0.0%	7.3%	100.0%

生徒の肯定率は50%に達していないが、生徒総会の様子などを見ていると、積極的に参加している生徒は多いと思われる。ただ、生徒の否定率が40%を超えているので、それらの生徒にとってはまだまだ生徒会が身近なものにはなっていないのかもしれない。今後も継続して、生徒の代表である生徒会執行部から、生徒会活動について、様々な発信をしていくようはたらきかけを行っていく必要があると考えられる。

32

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
32	芦間高校生は、部活動に積極的に参加している。	生徒	1年	43.3%	31.3%	12.9%	6.3%	5.8%	100.0%
			2年	40.6%	36.0%	14.2%	3.3%	5.9%	100.0%
			3年	46.2%	39.0%	7.6%	2.2%	3.6%	100.0%
			全体	44.0%	35.2%	11.5%	3.7%	5.0%	99.4%
33	芦間高校生は部活動に積極的に参加しているようである。	保護者	1年	43.6%	28.9%	6.6%	9.0%	11.4%	99.5%
			2年	40.0%	32.4%	9.4%	5.3%	12.4%	99.4%
			3年	41.1%	39.5%	4.7%	6.3%	7.9%	99.5%
			全体	41.7%	33.5%	6.8%	7.0%	10.5%	99.5%
32	芦間高校生は、部活動に積極的に参加している。	教員		29.3%	61.0%	9.8%	0.0%	0.0%	100.0%

肯定率は、生徒が約 80%、保護者が約 75%となっている。来年度は、クラブ体験やクラブ紹介等について、生徒会・クラブ員・部顧問が協力・工夫をしてさらなる充実に努め、部活動加入率がさらに上昇し、退部率が極めて少なくなるよう、尽力していきたい。

33

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
33	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	生徒	1年	25.0%	39.6%	14.2%	9.2%	11.3%	100.0%
			2年	32.6%	37.7%	11.3%	7.9%	10.5%	100.0%
			3年	30.5%	40.4%	17.0%	3.6%	7.2%	100.0%
			全体	29.1%	39.3%	14.0%	7.1%	9.8%	99.3%
34	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	保護者	1年	20.4%	41.7%	16.1%	9.5%	11.8%	99.5%
			2年	17.1%	45.3%	19.4%	4.7%	12.9%	99.4%
			3年	21.1%	41.6%	17.4%	8.4%	10.5%	98.9%
			全体	19.6%	42.7%	17.5%	7.7%	11.7%	99.3%
33	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	教員		7.3%	31.7%	29.3%	29.3%	2.4%	100.0%

昨年度より、生徒の肯定率が 12%上昇した。施設・設備については、大清掃ごとに「安全点検」を実施して、改善に努めている。しかし、施設・設備自体の老朽化に伴う修繕や更新については、学校の通常の予算の範囲では限界があるため、様々なかたちで教育委員会に対して予算要求をしているところである。体育館の耐震改修工事、校舎棟の大規模改修工事、特別教室 3 教室への空調設備の設置工事等が行われ、工事期間中は、各方面に大変ご迷惑をおかけしましたが、安全で快適な施設へとリニューアルすることができた。



34、35

番号	設問		学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	計
34	芦間高校のホームページは自分にとって必要な情報が簡単に得られるようになっている。	生徒	1年	17.5%	38.3%	22.5%	12.5%	9.2%	100.0%
			2年	11.3%	41.4%	26.4%	10.9%	9.6%	99.6%
			3年	15.2%	45.3%	22.4%	10.3%	5.4%	100.0%
			全体	14.5%	41.9%	23.9%	11.1%	8.0%	99.4%
35	芦間高校のホームページは、保護者にとって必要な情報が簡単に得られるようになっている。	保護者	1年	12.3%	39.8%	13.7%	3.8%	29.9%	99.5%
			2年	20.6%	45.3%	12.4%	1.8%	19.4%	99.4%
			3年	15.3%	39.5%	13.2%	4.2%	26.8%	98.9%
			全体	15.8%	41.3%	13.1%	3.3%	25.7%	99.3%
34	芦間高校のホームページは、保護者や生徒にとって必要な情報が簡単に得られるようになっている。	教員		22.0%	46.3%	22.0%	4.9%	4.9%	100.0%
35	芦間高校は、教育方針や経営方針を、生徒にわかりやすく伝えている。	生徒	1年	7.9%	22.1%	25.0%	10.4%	34.2%	100.0%
			2年	14.2%	33.5%	20.5%	6.7%	25.1%	100.0%
			3年	12.1%	29.6%	23.8%	5.4%	27.8%	100.0%
			全体	11.0%	28.2%	23.4%	7.5%	29.3%	99.4%
36	芦間高校は、教育方針や経営方針をわかりやすく伝えている。	保護者	1年	15.6%	46.9%	10.9%	3.3%	22.7%	99.5%
			2年	16.5%	48.2%	11.8%	2.9%	20.0%	99.4%
			3年	16.3%	44.7%	12.1%	4.7%	21.6%	99.5%
			全体	16.1%	46.6%	11.6%	3.7%	21.5%	99.5%
35	芦間高校は、教育方針や経営方針を生徒や保護者にわかりやすく伝えている。	教員		12.2%	43.9%	22.0%	4.9%	17.1%	100.0%

本校のホームページについては、以前から好評を得ているが、取り出したい情報がどこにあるのかが最初は分かりにくいようであり、そのことについては改善を図りたい。

教育方針や経営方針等については、機会あるごとにお伝えしているものの、紙媒体でのお知らせは保護者になかなか届かないという現状もあるようである。

今後は、PTAメールマガジンの利用を保護者に勧め、ホームページとの連携によって、学校情報、教育方針、経営方針を伝えていく。

